

和牛日本一を目指し

いざ！

全国和牛能力共進会へ

農業振興課畜産振興係 ☎0824・73・1227

全国和牛能力共進会とは

「全国和牛能力共進会」(以下「全共」)は、全国の優秀な和牛を一宮に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会です。5年に1度開催されており、「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランド力の向上につながるため、和牛関係者にとって、最も重要な大会といえます。そして、第12回大会が10月6日(木)10日(月・祝)に、鹿児島県で開催されます。

牛の部166頭、高校及び農業大学校の部24頭)が出品され、広島県からは21頭(種牛の部13頭、肉牛の部7頭、高校及び農業大学校の部1頭)が出品されます。本市は、古くから和牛飼養が盛んで、最古の蔓牛(優れた牛の系統)の一つ「岩倉蔓」をもとに改良した「比婆牛」の産地として、全国に広く知られています。本市の和牛は第1回大会以来、県代表として全ての大会に出場し、素晴らしい成績を挙げています。

今大会にも、11頭(種牛の部8頭、肉牛の部2頭、高校及び農業大学校の部1頭)が本市から選抜されました。



これまでの大会における庄原市出品牛の成績

開催年	大会名	最高成績
昭和28年	第1回 全国和牛共進会(広島県)(全共の前身となる大会)	名誉総裁高松宮杯(総合首席)
昭和41年	第1回 岡山県大会	1等賞(現優等賞)3席
昭和45年	第2回 鹿児島県大会	1等賞(現優等賞)6席
昭和52年	第3回 宮崎県大会	農林大臣賞(優等賞首席)
昭和57年	第4回 福島県大会	内閣総理大臣賞(総合首席)
昭和62年	第5回 島根県大会	内閣総理大臣賞(総合首席)
平成4年	第6回 大分県大会	優等賞2席
平成9年	第7回 岩手県大会	農林水産大臣賞(優等賞首席)
平成14年	第8回 岐阜県大会	優等賞6席
平成19年	第9回 鳥取県大会	優等賞3席
平成24年	第10回 長崎県大会	優等賞4席
平成29年	第11回 宮城県大会	優等賞6席

大会に向けた取り組み

現在、和牛の世界では全国的に血統が似通い、地域の特徴ある和牛が減少していることが課題となっています。県はこうした状況を踏まえ、広島県全体のテーマを「広島血統再構築の深化(発展)」と和牛肉の新たな価値観の創造」としました。種牛の部は、前回の宮城県大会からつながる血統再構築をさらに深化させることを目的とし、肉牛の部は、前回大会に引き続き、第6区(総合評価群)でのMUFFA平均全国1位を目指し、全国にPRできるように、取り組みを進めています。

市は、令和元年7月に対策協議会を立ち上げ、種牛の部では、2・3・6区において、令和2年4・10月にかけての種付け推進、その後全区の候補牛について巡回による体側、栄養指導などを実施しました。

肉牛の部も、令和元年12月(令和2年1月)にかけての種付け推進や、3カ月に1度巡回し、発育状況や血液検査などを行いました。

今後は、大会に向け各出品者が飼養管理を行い、高い評価を得られる状態を整えていくほか、9月には調教訓練を行い、全共に向けた最終調整を行います。

※MUFFA…一価不飽和脂肪酸のこと。この割合が高いものほど口どけ、舌触りがよいとされ、牛肉のおいしさやうま味の指標となっている。

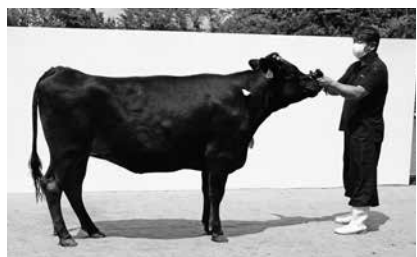
全国で競う和牛とその出品者を紹介！(種牛の部)



第3区 大迫 晴由さん(峰田町)



第4区 大迫 晴由さん(峰田町)



第4区 石田 朋大さん(東城町)



第5区 大迫 一三さん(峰田町)



第5区 大迫 一三さん(峰田町)



第5区 大迫 一三さん(峰田町)



第6区 (農)ファーム金田(口和町)



第6区 長田 直久さん(東城町)



特別区 県立庄原実業高校(西本町)

※氏名は出品者名

各出品区の概要

出品区	区のねらい
第1区(若雄)	和牛集団の遺伝的多様性、地域の特徴ある系統の遺伝子を残すための種雄牛をつくる
第2・3区(若雌)	改良組合活動の活性化による増頭意識の向上と全共参加者の拡大
第4区(繁殖雌牛群)	地域の特徴ある雌牛集団づくりと改良組合による改良の成果と技術向上
第5区(高等登録群)	母一娘一孫娘にわたる改良の成果の確認と優良雌牛系統を地域へ残す
第6区(総合評価群)	同じ種雄牛の子を種牛4頭と肉牛3頭で実証展示することによる改良成果の確認
第7区(脂肪の質評価群)	脂肪の質の能力把握から「新たな枝肉の価値観」の醸成と定着につなげる
第8区(去勢肥育牛)	繁殖農家の改良と肥育農家の技術で和牛のおいしさと魅力を最大限引き出す
特別区(高校及び農業大校)	農業教育とその学習活動を通じた和牛への理解醸成と担い手の育成

Interview 庄原の牛の躍進に期待!

私たちも、できる限りの支援、後押しを行いますので、出品者の皆さんには万全の状態で大大会に臨んでほしいと思います。

出品者の皆さんへ、温かいご声援をお願いします。



庄原和牛改良組合 山岡 芳晴 組合長

広島県は、和牛産地として規模が小さく、宮崎県、鹿児島県のような大規模産地と競い合うのは容易ではありません。

しかし、庄原の和牛生産者の皆さんは「広島牛は庄原が支えているんだ」という誇りを持ち、日々和牛の育成に取り組んでくれています。その結果、今大会にも庄原から「種牛の部」に姿・形の優れた牛が多く出品されることとなりました。

また、肉牛の部についても、MUFFAの高い庄原の牛は、肉のうま味という点で、前回大会でも優秀な成績を収めており、今大会でも躍進が期待されています。

今大会で優秀な成績を収めることは、庄原の牛、特に比婆牛を全国にPRするきっかけになります。